

・・・平和・協同・自然のひろば・・・

らいてうの家 〒386-2201 長野県上田市真田町 長十の原 1278 Telfax : 0268-74-1385
NPO 平塚らいてうの会 〒112-0002 東京都文京区小石川 5-10-20 5F Telfax : 03-3818-8626

らいてうの家～夏の庭（8月）から

猛暑にさらされたこの夏、8月半ばにらいてうの家で当番をして、皆さんと楽しい有意義な時を持ち、お天気は、雨がちでしたが、その合間をぬって庭の草取り、枝卸などをしました。その中で見た夏のらいてうの庭からのご報告です。

6月14日の森の講座の折に、家の入り口周辺のタンポポなどの雑草を参加者の全員で汗びっしょりになりながら抜きましたが、それ以来の久しぶりに見る庭は、いつにもまして植物の成長の力強さを感じさせるものでした。お当番の皆さんの手が入ったおかげでヨモギ、ハルジオンなどは除去されていましたが、それに代わる草が生い茂っていました。オカトラノオが小道にまで広がって目立つ状態になり、アヤメも株を増やしていました。一方、大事に見守って、去年までは盛んに広がっていたこの地方特産のゲンバイズルは他の植物に浸食されていました。丁度、花の端境期に当たり、見られた花は、ヒレアザミ、萩、擬宝珠、ドクダミ、ゲンノショウコ、そして、ワレモコウには赤とんぼが止まって早くも秋の訪れを告げていました。



ススキが、今までになく大きくなっていたこと、蔓性の植物が、蓮華つつじなどに巻き付いていたことも目立ったことでした。特に家の入口付近のススキは、家の雰囲気を変えてしまっていたので刈り取ると、奥に隠れていた赤い花（名前は不明）が見えて家を明るくしてくれました。蔓の草は、ヤブマメと思われましたが、あらゆる木や草に巻き付き庭を藪に変えてしまうものでしたので、入り口周辺のヤブマメの蔓は何とか除去しました。そして、家の看板が、成長したモミジの枝で見えにくくなっていたので枝卸をするなどもしました。

そして、うれしい発見がありました。家のテラスの下の斜面の白樺の根元にびっしりと生えている莓系の雑草を抜いていくとなんとベニバナイチヤクソウの群落が現れたのです。この春、数株がピンク色



の花をつけていましたが、こんなに増えていたとは！うっかり踏みつぶさなくてよかった！白いテープで囲っておきました。来春に花がみられるかどうかはわかりませんが、大事に見守っていきたいと思います。また、気候変化のせいか、庭づくりを始めて10年経つためかわかりませんが、かなり植生の変化があるような気がします。草取りはらいてうの家の活動の大事な一コマですね、励みましよう、体を労わりながら！

（三留 弥生）

上野千鶴子さん「らいてうの家」来訪

8月20日お約束の午後2時、シルバーグレイのオープンカー（上野さん所有）が「家」の駐車場に滑り込んだ。運転席の男性（集英社新書編集長）の横で両手を振っている女性が上野千鶴子さんであり、待ちうけた13人は最初から驚かされた。



ホールでいつものごとく、もちよりの御馳走を囲んで交流会がはじまった。女性学、ジェンダー学の研究者のパイオニアとして、指導的な理論家として歯切れのよい発言を続けている上野さんに初めて会った参加者は描いていたイメージとの落差に驚いた。

小柄で、おしゃれで、関西弁なまりの残るしゃべりもかわいらしい方である。しかし「いろいろ苦労したのよ」との言葉の裏に、バッシングに抗して冷静に理論的に対応しながら男社会の東大の中で「上野千鶴子の講義を聞きたい」と多くの外国の学生ファンも集まったという地位を築くには大変な努力があったことが想像される。

短い時間の交流会は参加者全員が率直に自分の思いを発言し、楽しい話し合いとなった。

現在上野さんは講演、執筆をしながら WAN(認定 NPO 法人ウイメンズアクションネットワーク)理事長としてネットを通じて幅広い人たちに幅広いメッセージを送っている。(らいてうの会の紹介もしていただいている) そのために広い地域と人との結びつきを大切にしておられるとのこと。上田市男女参画課からの参加もあり、発信の重要さが確認された。午後4時小雨がふりだし、上野さんは車の屋根を閉めて仕事場の八ヶ岳山麓の(第2の)家に向かわれた。(富松 裕子)

子ども祭りににらせんべい焼を

日本列島35～36度の暑い暑い日が続いている中、8月8日子供祭りが開催されました。標高1400mにある栗草園の涼しさを感じる管理棟のキッチンで、8名の会員で毎年好例になっております「にらせんべい」焼を始めました。「さあ頑張ろう!!」真田町の方の御好意によります新鮮なにらを2糎程に切り、地粉に少々砂糖と地元の大豆と米こうじ、町で造る味噌を入れて良く混ぜて1枚1枚交替で100枚程焼き上げました。香ばしい香りがキッチン一杯に広がります。庭の木の下でサブニユマを踊る参加者の子供さんお母さん方が大きな笑顔でほうばり、おいしいおいしいと沢山の手が出て召し上がってもらいました。



(花岡 静枝)

秋のらいてう講座ご案内

10月4日(日)

森の恵み講座Ⅱ 10:00～15:30

笹がり(らいてうの森) 10:00～12:00 りいてうの庭観察 13:30～15:30

5日(月) 10:00～15:00 きのご観察 筑波大学菅平実験センター

10月17日(土)

らいてう講座⑤ 13:30～15:30

今、わたしたちにできること

…子どもたちに「戦争しない世界」を…



講師：米田佐代子会長

会場：らいてうの家 資料代 300円